

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年9月4日 No.72

原水爆禁止2008年世界大会の成果を行動に

新署名職場・地域・学園で目標決め

【山梨】国連要請代表団派遣とむすび9月末までに新署名目標3000筆

山梨県原水協は8月29日、臨時理事会を開催し、新署名を2010年3月までの短期間の署名のとりくみを協議しました。6・9行動をはじめ、全ての署名を「すみやか」署名から新署名に切り替え、毎月末に集約を報告すること、当面9月末までに各団体地域組織の基礎(構成員)署名をやりきること、国連要請代表として選出された平賀氏(県原水協代表委員の一人)の行動と最低でも3000筆をに託すことを確認しました。

【徳島】新署名目標 加盟各団体構成員の5倍を確認

徳島県原水協は9月2日、常任理事会を開きました。原水爆禁止2008年世界大会で発足した2010年NPT再検討会議めざす新署名の取り組みについて、徳島建交労ではまず組合員1人が1枚の署名用紙(5名連記)に取り組むことを決めたことが紹介されました。また、各団体でも、まず構成員の5倍を目標にスタートさせようと協議されました。

徳島民医連の場合は450人×5筆で2250筆の目標です。数万人の健康生協組合員にも同様に呼びかけることになりました。神野美昭県原水協事務局長は、「加盟団体以外の各団体に協力を訴え、全県民の運動にしていくことが大事」と話しています。

【北海道】ピースイエロー原水爆禁止世界大会札幌青年報告会ひらく

北海道平和委員会青年協議会・被爆の実態を伝える札幌青年の会「FoRP」などは8月31日、6年目となる「ピースイエロー原水爆禁止世界大会札幌青年報告会」を開き、15人が参加しました。

会ではまず、北海道被爆者協会の太田正芳さんが被爆体験を話されました。今年80歳になる太田さんは広島県の爆心地から4キロ地点で被爆しましたが、しばらく被爆したことに気付かないまま救援活動に従事しました。戦後は公務員として働き、定年を迎えるまで被爆者であることを誰にも話さなかったということです。

被爆者の服部十郎さんから原爆症認定集団訴訟の経過報告、北海道原水協からの世界大会基調報告に続き、参加した青年からの報告がありました。

報告会に参加した青年からは、「太田さんの話を聞いたのは初めてで良かった」、「世界大会に行けなかったが、自分が2年前に広島で感じたこととの違いが興味深かった」などの感想が出されました。



集団訴訟について語る服部十郎さん

9月6・9行動を全国で成功させよう